

衛生だより



令和2年度第1号（4月）発行

北部家畜保健衛生所

東部・北部家畜防疫獣医師会

〒287-0004 香取市岩ヶ崎台12-1

Tel：0478-54-1291 Fax：54-5996

夜間・休日緊急（転送されます）

（公社）千葉県畜産協会

〒260-0021 千葉市中央区新宿1-2-3

千葉県内でPED発生！（今季27～32例目）

確定診断日	発生農場	症状
3/17 (27例目)	県北東部 約1,800頭飼養の一貫農場	哺乳豚 50腹500頭で黄色・白色 水様性下痢
3/19 (28例目)	県北東部 約1,600頭飼養の一貫農場	哺乳豚 3頭で黄色・白色水様性 下痢
3/23 (29例目)	県北東部 約1,800頭飼養の一貫農場	哺乳豚 25腹250頭で黄色・白色 水様性下痢
4/1 (30例目)	県北東部 約1,200頭飼養の一貫農場	哺乳豚 200頭で黄色水様性 下痢、5頭死亡
4/10 (31例目)	県北東部 約11,300頭飼養の一貫農場	哺乳豚 1,000頭で灰色泥状下痢
4/10 (32例目)	県北東部 約4,900頭飼養の肥育農場	肥育豚 40頭で黄色水様性下痢

まだ出していない方へ

定期報告書の提出をお願いします！

提出期限は4月15日となっております

未提出の方は、お手数ですが必要事項を記入のうえ、添付書類とともに北部家畜保健衛生所まで提出して下さるよう、よろしく申し上げます。報告書を紛失された場合や、ご不明な点がある場合は当所にご連絡下さい。

※23年度より、家畜伝染病予防法が改正され、飼養状況について年1回、都道府県知事への届け出が義務づけられております。

豚の様子がおかしいな、と思ったらすぐにご連絡ください！！

北部家畜保健衛生所 Tel.0478-54-1291 Fax.0478-54-5996

夜間・休日は転送されます、必ず5回以上コールしてください

毎月1日は
一斉消毒の日

～新年度 所長 あいさつ～

はじめに、昨年の台風や新型コロナウイルス感染症の影響で被害を受けた生産者の皆様に改めて心よりお見舞い申し上げます。

家畜衛生に関して、豚では、国内養豚場における豚熱（いわゆる豚コレラ）の発生と野生イノシシ感染拡大に対する防疫強化のため、本県ではイノシシ防護柵設置事業推進に加え、2月17日からはワクチン接種を開始しました。3月末で県北部地域141農場132千頭（県内の35%）の初回接種を完了し、6月末を目途に県内全戸全頭接種を終える予定で連日奮闘中です。中国等で大流行中のアフリカ豚熱も国内への侵入リスクが増大したことから、4月の家畜伝染病予防法改正により飼養衛生管理基準の強化策が打ち出されています。また、豚流行性下痢も流行が継続しており終息には至っていません。

家きんでは、昨年度も国内では幸い高病原性鳥インフルエンザ（HPAI）の発生はありませんでしたが、中国やヨーロッパで今年に入りHPAIの発生があり、引き続き警戒が必要です。

牛では、令和2年度は豚熱への対応強化のため、ヨーネ病定期検査を1年間延期させていただくこととしました。牛ウイルス性下痢・粘膜病やEBL対策、死亡牛のBSE検査については農林水産省等の御協力のもと実施します。関係者の皆様には御不便をおかけいたしますが、御理解御協力の程、宜しくお願いいたします。

当所では家畜伝染病発生予防のため、各種疾病サーベイランス、病性鑑定、農家巡回、徴求報告等の疾病監視体制を強化し、国内外の伝染病発生等に関しては迅速に情報提供を行ってまいります。法改正の要点や飼養衛生管理基準強化策のお知らせ、確認のため、農場への訪問や電話連絡をさせていただくことがあります。お忙しい中とは存じますが、御協力くださるようお願いいたします。

生産者の皆様には、今後も異常畜の早期通報、導入畜の隔離観察、野生動物等の侵入防止、人や車による交差汚染防止対策の徹底をお願いいたします。新型コロナウイルスの関係で先行き不透明ではありますが、地域の畜産を家畜衛生の分野から支えて参りますので宜しくお願いします。

北部家畜保健衛生所長 青木 ふき乃

令和2年度 北部家畜保健衛生所新体制

所長：青木 ふき乃

次長：小川 明宏☆

衛生指導課

課長：笠井 史子
副主幹：成毛 弥生
専門員：新居 友明☆
専門員：阿部 敬☆
主任技師：中島 有美子☆
技師：佐々田 由美子
技師：平木 崇

防疫課

課長：小川 明宏☆
専門員：上林 佐智子☆
専門員：綿村 崇宏☆
専門員：菅 賢明
技師：岩間 亮祐
技師：中村 みどり

(☆転入者)

転出者：武石 佳夫、木下 智秀、関野 友利華、中代 浩之、青木 朋子

本年度も引き続き宜しくお願い致します